

未来づくり懇談会（矢板六区）会議録

日 時：平成28年11月24日（木）

19：00～20：20

場 所：矢板六区自治公民館

出席者：市長、教育長、総務課長

1 開 会 19：00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

○中心市街地活性化について

・資料に基づき、人口推計等について説明。

Q 1 空き地や駐車場が目立つ。売りに出ている買い手がつかない現状を、市では何が原因と考えているか。

A 1 中心市街地の公図混乱が原因と考える。六区だけでなく中心市街地の問題なので何らかの対策が必要と思っている。

Q 2 地籍調査をしないと何も進まない。駅前通りをもっと重要視してほしい。

A 2 地籍調査については、平成29年度は地籍調査班の職員を増員し、調査区の箇所数も増やし予算も増やす。

地籍調査は公図を基に現地を調査するので、公図が無い地域や現状と公図の状況がかけ離れている地域では、地籍調査を行うことが困難である。

Q 3 空き店舗対策を考えてほしい。

A 3 空き店舗の活用として、駅前通りは面としての活性化が必要。空き店舗補助金の拡充も含め考える。

Q 4 六区は高齢化率、独居老人の率が市内一。行政としての考えを伺いたい。

A 4 市だけで独居老人のお世話をするのは難しい。民生委員や地元の方の見守りネットワークの構築が必要。コンパクトシティ構想に基づいた高齢者が暮らしやすいまちづくりを進めていきたい。

Q 5 街の中に小さなスーパーを作ってほしい。

A 5 中心市街地のどこからでも歩いて行ける商業施設整備の必要性は感じている。公共交通機関、福祉タクシー等を充実し高齢者でも駅前商店街で買い物できる仕組みも研究していきたい。

5 意見交換

Q 1 フットボールセンターの現状は。

A 1 J T跡地は今年2月下旬に小山市とともに、候補地として正式に選定された。小山と矢板の2カ所が選ばれたことや県サッカー協会補助金額の算定誤りにより、当初見込んでいた額よりも補助金額が少なくなった。民間活力導入を切り口にした詳細な調査をシンクタンクにお願いしている。

| | |
|--------------|--|
| 平成 28 年 9 月 | 民間活力導入可能性調査業務を委託 |
| 平成 29 年 6 月 | 民間活力導入可能性調査の結果を議会全員協議会で報告。 |
| 平成 29 年 7 月 | NPO 法人たかはら那須スポーツクラブから民設民営での実施提案書提出。 |
| 平成 29 年 10 月 | 事業計画検証業務を委託 検証結果、実現可能性ありと報告。 |
| 平成 29 年 12 月 | 12 月定例会で NPO 法人たかはら那須スポーツクラブに施設整備及び運営を委ねる旨を表明。 |

Q 2 消防小屋の上にあった防災無線が撤去されてから六区には防災無線が無い。

A 2 防災行政無線が聞こえないときは、メール配信サービスや、電話を利用してほしい。

| | |
|--------------|---|
| 平成 29 年 5 月 | 防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布 |
| 平成 29 年 6 月 | 防災メール登録及び防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布。 |
| 平成 29 年 11 月 | 防災行政無線放送確認するためのフリーダイヤル（通話料無料）電話番号のチラシを全戸配布。 |
| 平成 30 年 1 月 | 防災行政無線の聞こえ方調査を実施 |

Q 3 六区の都市計画税、固定資産税を猶予してほしい。

A 3 特定の地域だけ実施することは難しい。

6 閉 会 20:20